



MONTHLY

かわせみ通信

4月号

2023年4月

Vol.164

発行所



ECOLOGY & SCIENCE 株式会社 東海テクノ 本社/三重県四日市市午起2丁目4番18号 (〒510-0023)

TEL.059-332-5122 (代) https://www.tokai-techno.co.jp

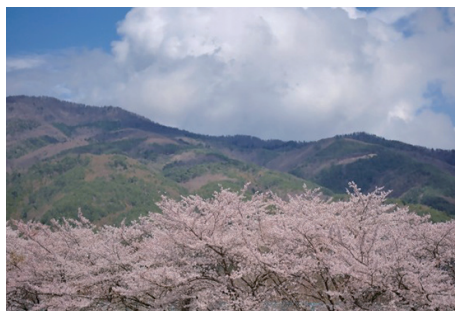
反省を踏まえた実効性のある法律に～生まれ変わる盛土規制法～

皆さんは「盛土規制法」という法律をご存知ですか?「ゲリラ豪雨」「線状降水帯」「過去最大」…。私達が子供の頃には聞いたことのないようなキーワードが、ニュースのトップ記事を賑わす時代になってきました。これらはひとえに“地球温暖化”が大きな要因とされ、気候変動により豪雨や熱波、台風、洪水等の異常気象が毎年起こっているからでしょう。

そのような中2021年7月に、静岡県熱海市で発生した大規模な土石流災害が、大きな被害を与えたことは、皆さんの記憶にも新しいものかと思えます。実はこの災害をきっかけに国は「宅地造成等規制法の一部を改正する法律」を公布。いわゆるこれが「盛土規制法」と呼ばれる法律です。こういった盛土の規制は以前より存在していたものの、都市地域では宅地造成等規制法、森林地域では森林法、農地地域では農地法等、その他あわせて5つの地域に区切り、個別法の中で目的に合わせ決

められていました。

しかし、縦割りに法律を区切ること、それぞれの法律にある目的等の限界から、どれにも該当しない未規制の土地が生じてしまうという問題が発生。そのため地方自治体では、可能な限り規制から漏れる土地が生じないよう、条例を制定し、できる限りの規制を行いました。ただそれでも隙間をみつけ、未規制の地域や条例のない自治体に土砂が持ち込まれるといったイタチごっこになっていました。そこで国はそういった制度上の課題を埋め、盛土等による災害から“国民の生命・身体を守



る”という目的のもと、全国一律の基準で包括的に規制するために今回の大幅な法律改正を行ったのです。これが「盛土規制法」です。

話は戻りますが、今回の熱海市で起きた土石流災害は、県が定めた条例に事業者が違反し続け対応を怠ったことに加え、近年稀に見る降雨量が合わさった複合的な要因で起きてしまいました。

この災害のあと国は県、市町等に対して「盛土による災害防止にむけた総点検」を指示し、三重県でも146箇所の盛土が点検され、うち2箇所が是正措置必要となり、指導等が行われています。

最近の異常気象は、時に人間の予測を超え、現象をもたらすため、規制ができたから安全・安心とは言い難いこともあります。願わくは、法をくぐり抜けた行為が人災をもたらす経験から、想定外の自然現象でも被害をもたらすことのない規制ができることを願っています。

東海テクノからのお知らせ

①JIS Q 17025:2018 (ISO/IEC 17025:2017)

認定範囲の追加

ISO/IEC 17025:2017は試験所認定と言われ、特定の種類の試験(電気試験、機械・物理試験、化学試験、食品試験等)及び校正(電磁気量、幾何学量、力学量、熱力学量等)を実施する試験所の技術能力を証明するもので、世界の多くの国や企業が取引先を選ぶ判断基準にしています。弊社ではお客様のご要望を受けて、この度認定範囲を追加致しました。

認定範囲

分野	M26 科学試験
分類コード	M26 A8
分類名称	樹脂・ゴム

技術分類コード及び名称	試験対象項目	試験規格/標準作業手順書
B2.1 吸光度分析: 紫外・可視分光分析	5 mg/kg ≤ Cr (VI)	IEC 62321-7-2: 2017 Ed.1.0 一部変更 (定量範囲の下限を拡大)
B2.2 原子吸光分析: CV-AAS	1 mg/kg ≤ Hg ≤ 1000 mg/kg	IEC 62321-4: 2013 + IEC62321-4 AMD.1: 2017 Ed.1.0 一部変更 (定量範囲の下限を拡大)
B3.6 質量分析 I: GC/MS	10 mg/kg ≤ PBB ≤ 2000 mg/kg 10 mg/kg ≤ PDBE ≤ 2000 mg/kg	IEC 62321-6: 2015 Ed.1.0 一部変更 (定量範囲の下限を拡大)
B3.7 質量分析 II: ICP-MS	50 mg/kg ≤ DEHP, BBP, DBP, DIBP ≤ 2000 mg/kg	IEC 62321-8: 2017 Ed.1.0
B5.1 クロマトグラフィー: 燃焼-IC	5 mg/kg ≤ Cd ≤ 3000 mg/kg 5 mg/kg ≤ Pd ≤ 3000 mg/kg 50 mg/kg ≤ Br ≤ 10000 mg/kg 50 mg/kg ≤ Cl ≤ 1000 mg/kg 50 mg/kg ≤ F ≤ 10000 mg/kg	IEC 62321-5: 2013 Ed.1.0 7.1 BS EN 14582

【樹脂・ゴム/燃焼イオンクロマトグラム法によるBr・Cl・Fの測定(試験規格 BS EN 14582)】

②弊社初の社会人ドクターが誕生

環境事業本部 小笠原英城が、このたび三重大学 大学院 地域イノベーション学研究科過程を修了し、博士学位を取得いたしました。また、学長表彰も授与されました。社会人ドクター制度を活用した博士(学術)取得への経緯・苦労話等は後日、本紙面でご紹介できればと考えております。



左が小笠原、右は弊社代表取締役 市田

プチコラム

久保 景 (環境事業本部 四日市分析センター フィールドGr)

空前のサウナブームにのっかり、私もサ活(サウナ活動)を始めました。サウナといえば、暑い場所に入ってを流すイメージが強いと思いますが、実はそれだけでは効果は薄く、サウナの醍醐味を味わうには、サウナ→水風呂→外気浴を1セットで行う必要があります。サウナと水風呂に入っているときは、正直苦行なのですが、それを我慢して外気浴をしたときには、頭がぼーっとして、日常では体感できないようなリラックス状態になります。いわゆる「ととのう」という感覚です。サウナ後は、頭もスッキリするので、日頃の仕事の疲れを癒しに行くのもおすすめです。



編集後記

弊社ではお客様の信頼に応えられるように、規格認定範囲の追加や、各種技術資格取得など今後も努力して参ります。分析のご相談等がございましたら、まずは営業員までお問い合わせ下さい。また、弊社内を見学していただくラボツアーもリニューアルし、遠方のお客様向けの動画撮影も進めております。今後もより近くに感じていただける相談先となれば幸いです。(みっちー)

